

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
71012	1	後期	選択	1	15
授業科目名 (英文)		人間関係論 (Human Relation)			
担当教員名		岸 信行			
授業の概要及び到達目標					
人間は、生まれたときからさまざまな人と関係をもちながら生きている。よい人間関係を築くことは、よい人生を送ることにもつながると言える。この授業では、人間関係を成り立たせるためのコミュニケーションの仕組みと、人間関係を深めたり崩壊させたりする要素などについて学ぶ。					
準 備 学 習 等					
毎回の講義時に、次回までに事前に目を通しておくべきパワーポイントの資料の箇所を指定する。その箇所を、講義に先立って読んでおくこと。詳しくは第1回の講義時に説明する。 なお最終回の講義時には、講義全般の内容に関する質問を受け付ける時間もとる。講義内容を確認・復習したうえで、質問事項を用意しておいてほしい（質問ができるように、各回の講義に積極的に参加することが大事。） この授業では、講義で扱ったテーマについてどう考えるか、講師から学生に意見を求めることがある。それをもとに活発にディスカッションを行うことも本講義の重要な要素となる。受講学生には、積極的な参加を求める。					
成績評価の方法	講義に対する貢献（40%）：出席・質問・講義への参加姿勢などにより評価。 レポート（60%）：期末試験はせずに、講義内容を理解しているかどうかを確認するためのレポートを提出する。				
テキスト	テキストは使用せずに、配布するパワーポイントの資料で授業を進める。 必要に応じて、ワード文書の資料も配布する予定。				
参考図書	参考図書は授業のなかで適宜紹介する。				
備 考	オフィスアワー：授業の開始前ないし終了後の時間に、非常勤講師室または教室で対応する。もちろん、質問などは授業時間内にしてもらってかまわない。授業内での質問は、授業に貢献するものとして評価する。				

授 業 計 画

第1回・第2回 イン트로ダクション 学生に伝えたい三つのこと

1. 国試だけを目指すな
2. 高等教育の意味
3. 「レベルの高い」看護を目指せ

一次関数 $F=ax$ の $[a]$ 、養老孟司著『バカの壁』より「生きる姿勢・構え」

第3回・第4回 「おもてなしの心」と「江戸しぐさ」

われわれ人間の行うコミュニケーションにおいて非言語的な要素が果たしている役割の重要性について、日本文化の根底にあると考えられる「おもてなしの心」を中心に学ぶ。その際、江戸庶民たちが自らの道德規範として体系づけたと考えられる「江戸しぐさ」についても考察する。

第5回・第6回 医療における人間関係としての「インフォームドコンセント」

医療の人間関係としての「インフォームドコンセント」の意味とその重要性を、歴史的な流れを考慮して考察する。その際、重要な役割を担う「今だけ、ここだけ、あなただけ」という関係から「いつでも、どこでも、誰にでも」という「関係の拡がり」を吟味する。

第7回・第8回 まとめ

人間は、ただ一人で存在するわけではなく、必ず、社会のなかの一員として生きる。従って、人間関係における「組織・集団」が重要になる。組織や集団を生きる場における「他者」として捉え、社会におけるコミュニケーションの問題を考察してまとめる。